



しみずべ みき
清水邊 未来さん
(盛岡市)

『今はとんとん吸収し、トマトとともに成長していきたい』

令和3年4月に盛岡市の「株式会社いわて若江農園」に雇用就農したフレッシュな清水邊未来さんを紹介し
ます。

花巻市出身の未来さんは花巻農業高等学校卒業後、岩手県立農業大学の野菜経営科に進んだ後、雇用就農しました。非農家出身の彼女でしたが、一緒に住んでいた祖母が家庭菜園で野菜や花を楽しそうに栽培していた様子を見て農業に興味を持ち、農業の道へ進みました。

農大時代は友達に恵まれ、とても楽しく過ごしたそうで、「もう一年いたかった！」とのこと。

就農先の(株)いわて若江農園は、環境制御技術を用いながらトマトを周年で出荷販売する会社ですが、農大1年生の時に研修先として訪問したり、就職説明会で社長の話を聞いたりして入社を志願しました。

今は葉かきなどの管理や収穫・調製、生育調査、出荷などを行いながら作業のコツを覚える毎日ですが、特に着果促進のためのホルモン処理のタイミ

ングを見極めるのが課題です。

ハウスの近くにアパートを借り、自炊しながら朝6時30分から1時間程度行われる自主勉強会に向け、毎朝5時に起きて頑張っている彼女ですが、「これからもとんとん知識や技術を吸収し、トマトとともに成長していきたい」と語ってくれました。

休日は会社からもらった新鮮なトマトを沢山使ってカレーやスパゲッティなどを作っています。とっても美味しそうですね。

また現在はコロナ禍でなかなか外に出られませんが、住み始めた盛岡市でも同じ世代の人たちと交流しながら仲間づくりもできたらいいと考えています。

社会人2年目を迎える未来さんには、これからも新しい発見や楽しみを見つけながら、これからも元気にトマトとともに成長していただきたいと思います。

(文：盛岡農業改良普及センター)